



ウミネコ

# ゆるりと過ごす 大人の島じかん

楽

のんびり浦戸の島歩き 街の喧噪からエスケープ。

浦戸諸島の楽しみ方として最もポピュラーなのが「島歩き」。のんびりと島をめぐりながら、自然や歴史、島の文化に触れてみよう。島には森林や砂浜、田園など変化に富んだコースがあり、そして絶景のビュースポットが…!



## 野々島のラベンダー畑 夏

ボランティアによって作られた、ラベンダー畑は、夏の浦戸の名所となった。



## 桂島西海岸・大藻根島

海岸沿いの遊歩道からは、自然が作り出した絶景が見られる。背後に見えるのは、塩竈の街並みと蔵王や船形山の峰々。



渡りの途中、羽を休めるトウネン



十二支方角石 (寒風沢島) 日和山にある、天保年間に建てられた日本でも第一級の方角石。

# 刻まれた島の 歴史に迷い込む

楽

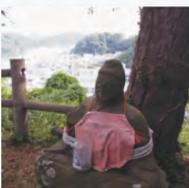
浦戸歴史探訪 時の旅に出かけてみる。

島の歴史は古く、寒風沢は伊達藩の江戸廻米の港として栄え、石浜には明治にラッコ船で繁栄した白石邸跡が、野々島には熊野神社のキリシタン伝や内海長者伝説、朴島には伊達藩の宝島伝説がある。「古下駄のお化け」など民話も数多くある。史跡をめぐり、海と共に歩んできた島の歴史と浪漫を感じてみよう。



## 寒風沢の六地藏

寒風沢集落のはずれの小道にたたずむ六地藏は、仏教の六道信仰からきたもので、迷い苦しむ亡者を救済し、浄土に送り届けてくれると言われている。



しぼり地藏 (寒風沢島) その昔、寒風沢には遊郭があり、遊女たちが男たちの船出を止めようと、お地藏さまを荒縄で縛って、逆風祈願をしたと伝えられる。



## 野々島の切通し

熊野神社から椿のトンネルへの古道には野仏や祠が点在する。震災の時は島民の避難路となった。



## 白石廣造邸跡 (桂島 石浜)

白石氏は明治4年石浜に「白石廻漕店(白石商会)」を設立。北海道や三陸の各港との廻漕業を興し、さらにラッコ・オットセイ猟を興し、塩竈築港や発展に力を尽くした。敷地内には屋敷の礎石や石蔵、庭園の石燈籠が残っており当時の繁栄を偲ばせる。

# 潮風に耳を澄まし

# 森と海に学ぶ

楽

島の自然観察 豊かな自然を体感しよう!

浦戸諸島は変化に富んだ地形から、多様な動植物が見られる。松島を代表する風景を作っている松林、多彩な海岸性植物。この地方では珍しいタブやヤブツバキなどの暖地系植物。水辺に住む鳥類や昆虫も多く生息している。これらの動植物は離島であるため手つかずのまま守られています。



ハマギク 海岸などで見られ、秋に花を咲かす。塩竈市の花「白菊」はこの花。



犬島

## 自然が作った島の造形

波による岩の浸食や植生する松などによって作られた独特の景観を見ることができる。



獲物を狙うアオサギ

オオセグロカモメ ウミネコとの違いわかるかな?



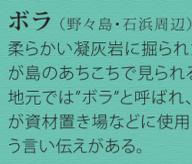
岩場で見られるウミウの群れ



柏木島のボラ



化粧地藏 (寒風沢島) 白い粉を塗って祈願すると、美しい子が授かると言われる。



石浜のボラ

ボラ (野々島・石浜周辺) 柔らかい凝灰岩に掘られた横穴が島のあちこちで見られる。地元では「ボラ」と呼ばれ、昔の人が資材置き場などに使用したという言い伝えがある。



自然にやさしいシーカヤックは浅く波静かな湾内にぴったり。

## マナーを守って、美しい島にしよう!

- ・ゴミは持ち帰りましょう!
- ・動植物は持ち帰らない!
- ・菜の花は摘まないで!
- ・農漁業を妨げない!
- ・夜は静かに過ごしましょう。
- ・キャンプ・焚火はできません!
- ・ヘビやハチに注意!
- ・カモメなどにエサを与えない! (自分のエサは自分で獲ります!)



## 海の幸のお問い合わせ

宮城県漁協塩釜市浦戸支所 Tel.022-369-2211  
宮城県漁協塩釜市浦戸東支所 Tel.022-369-2111



宇内浜 (野々島) 美しい遠浅の砂浜の宇内(うね)浜。干潮時には対岸の島と陸続きになる。



## 椿のトンネル 春 (野々島)

朴島の菜の花と並んで、春の浦戸の名所なのが、風情のある野々島の椿のトンネル。

## こちら注目!



## ラウンジ「菜の花」がオープン

平成26年4月、野々島のブルーセンターにオープン。来訪者向けのビジターセンターと、浦戸内外の人々のコミュニティスペースを兼ね備えた施設で、誰でも利用することができる。



## 開放感満点! 桂島海水浴場

太平洋を望む広々とした砂浜。平成26年夏に震災から4年ぶりに海水浴場として再開された。桂島栈橋から徒歩約10分。海水浴の期間は7月中旬～8月中旬。



## 朴島の菜の花畑 春

黄色のジュータンとタブの緑が美しく、畑からはのどかな海が見渡せる。この菜の花は「仙台白菜」の採種用として栽培されている。※採種用ですので、花は摘まないで下さい。



## 松崎神社・タブの森

松崎神社(桂島神社)には「お籠様」が祀られている。鎮守の森には、タブの大木が繁茂し屋でも暗い。この境内の木に刃物を入れれば天罰が下るといふ言い伝えも…!

## 寒風沢島の田園地帯

寒風沢島では、昔ながらの天水による稲作が行われている。震災では水田全てが浸水したが、人々の努力によって震災の翌年には作付が再開された。地酒「寒風沢」の酒米はこの田んぼで作られている。



## 海苔養殖の風景

松島湾内では、海苔や牡蠣の養殖が行われ、秋から春には海苔養殖の竹竿が林のように設置される。



↑海中の森のようなアマモ場 ←市民参加のイベントの様子

## 海のゆりかご「アマモ」を再生

松島湾に広く分布していた海藻「アマモ」は海のゆりかごと言われ、水質を浄化し、幼魚などが育む場として重要な存在だったが、津波により大部分が流失。現在、アマモ場を再生する様々な活動が漁業者や市民、企業、大学・研究機関、行政など協働で行われている。公式HP「松島湾アマモ場再生会議」http://matsushima-amamo.jimdo.com/

## 島の歳時記～季節の花めぐりと、旬の食～

春 シラウオ	夏 アナゴ	秋 新米	冬 牡蠣
椿 (3月→5月)	ハマヒルガオ (5月→6月)	ハマナス (7月→8月)	ハマギク (10月→11月)
菜の花 (4月中→5月中旬)	アオズシアゲハ (5月→10月)	ラベンダー (7月→8月)	
菜の花 摘み取り	春のウォーキング	夜光虫 観察	海水浴・マリンスポーツ シーズン
		盆おどり 花火大会	秋のウォーキング
		釣り	牡蠣むき 海苔すき体験
			シラウオ漁 灯賞

ようこそ、癒しの島へ。 浦戸諸島

https://www.city.shiogama.miyagi.jp/site/urato/

公式ウェブサイト「浦戸諸島」で検索!

気になる情報は ホームページで!

市営汽船運航情報 島の観光スポット 体験イベント情報 など

浦戸諸島へのアクセス

★電車で 仙台駅 仙石線 28分

★お車で 仙台東部道路 三陸自動車道

★バスで 仙台港北C

★徒歩(8分)

★マリンゲートまで 車(15分)

★観光案内所

浦戸諸島

桂島まで 23分  
野々島まで 31分  
石浜まで 36分  
寒風沢まで 46分  
朴島まで 54分  
※乗船時間

お問い合わせ

塩竈市営汽船 〒985-0016 宮城県塩竈市港町1-4-1 Tel.022-361-7710

塩竈市浦戸諸島開発総合センター 〒985-0193 塩竈市浦戸野々島宇河岸50 Tel.022-369-2240

塩竈市観光物産協会 (観光案内所) 〒985-0193 塩竈市観光物産協会 Tel.022-364-1165

塩竈市観光物産協会 (観光案内所) 〒985-0193 塩竈市観光物産協会 Tel.022-362-2525

発行/塩竈市 編集/塩竈市営汽船 塩竈市浦戸諸島開発総合センター 協力/塩竈市・塩竈市教育委員会 塩竈市観光物産協会・しおナビ実行委員会 イラスト/小野智香

※本誌の記事は、2022年4月現在の情報に基づいております。